

発達支援教育実践セミナー



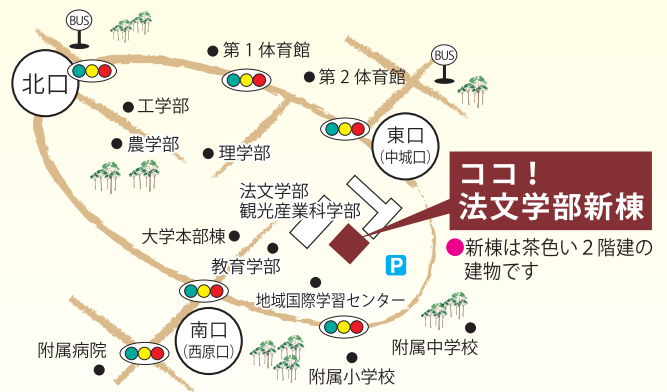
支援を必要とする子どもたちの「向かう力」が 生まれる支援と教育の創造

—他者との関係性、やりとり、対話へとく繋がりを育む土壌—としての体験活動—

今回で8回目となる発達支援教育実践セミナーでは『支援を必要とする子どもたちの「向かう力」が生まれる支援と教育の創造』と題して、1部では3年目を迎える八重山地域の当センターの特別研究員による「トータル支援教室 in 八重山」の取り組みと通級指導教室の実践からの学びについて報告します。また、沖縄市立比屋根小学校の「特別支援学級および通級指導教室の連携による取り組み」の報告から教育実践について考えたいと思います。2部ではスタートから7年が経過した当センターの支援の必要な子どもたちを対象とした「トータル支援教室」の実践を、海をテーマにした支援教育の紹介とともに、『支援を必要とする子どもたちの「向かう力」が生まれる支援と教育の創造』のテーマで成果報告します。

また、1部では『子どもたちの「向かう力」を生み出す教育実践』と題して神戸大学の赤木和重氏（発達心理学）、2部では『発達障がいの子どもの理解と支援』と題して元京都女子大学の山上雅子氏（発達臨床心理学）による講演、およびセンター特別研究員を交えた質疑応答、討論を行います。

参加無料・申込不要



日にち 平成25年 **11月30日(土)**

時間 10時～17時（9時半受付開始）

場所 琉球大学 法文学部新棟（2階215教室）

対象 ●教員 ●保育士 ●支援員 ●保護者 ●臨床心理士等専門家 ●障がい者支援関係職員

プロフィール **山上雅子**（元京都女子大学 教授 心理相談室ハタオリドリ主宰 臨床心理士）

秋田県生まれ。京都大学博士課程修了（教育学博士）。滋賀県中央児童相談所心理判定員、佛教大学心理クリニックセンターセラピスト、京都女子大学発達教育学部教授を経て、現在、心理相談室ハタオリドリを主宰。著書：『自閉症児の初期発達—発達臨床的理解と援助—』

講師

プロフィール **赤木和重**（神戸大学 准教授）

奈良県生まれ。滋賀大学大学院教育学研究科・神戸大学大学院総合人間科学研究科修了（学術博士）。三重大学准教授を経て、現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授。著書：『「気になる子」と言わない保育—こんなときどうする？考え方と手立て—』

後援 沖縄県 沖縄県教育委員会 沖縄県発達障がい者支援センター（予定）

問い合わせ先：電話/FAX：098(895)8428 メール：sien@w3.u-ryukyu.ac.jp

《 日 程 》

挨拶 金城 昇(センター長)
はじめに 浦崎 武(司会 センター専任)

●第1部：教育実践から考える (10時～12時30分)

・『八重山地域の支援の必要な子どもたちへのトータル支援教室と

通級指導教室の実践から(トータル支援教室IN八重山)』

入 嵩 西 清 幸(八重山教育事務所 指導主事)

本 間 七 瀬(石垣市立新川小学校教諭・センター特別研究員)

運 道 恵 理 子(石垣市立登野城小学校教諭・センター特別研究員)ほか

・『特別支援学級と通級指導教室の連携による取り組み』

末 吉 麻 紀、翁 長 文 子(沖縄市立比屋根小学校教諭)

崎 濱 朋 子(沖縄市立比屋根小学校教頭・センター特別研究員)

◎コメント 赤木和重(神戸大学)、山上雅子(元京都女子大学)

講演 11時30分～12時30分 赤木和重(神戸大学 准教授)

『子どもたちの「向かう力」を生み出す教育実践』



●第2部：支援教室から考える (13時30分～17時)

・『トータル支援について：センターと八重山地域の取り組みを通して』

瀬 底 正 栄(那覇市立小緑小学校教諭・センター特別研究員)

ほか、センター特別研究員チーム

・『海をテーマにしたトータル支援教室の取り組みから』

久 志 峰 之(那覇少年鑑別所法務教官・センター特別研究員)

大 城 麻 紀 子(沖縄県立森川特別支援学校教諭・センター特別研究員)

金 城 明 美(宜野湾市立長田小学校教頭・センター特別研究員)

・『トータル支援の実践事例から』

武 田 喜 乃 恵(発達支援教育実践センター相談員・特命研究員)

◎コメント 山上雅子(元京都女子大学)、赤木和重(神戸大学)

～・～・～ 休 憩 ～・～・～

講演 16時～17時 山上雅子(元京都女子大学 教授 心理相談室ハタオリドリ)

『発達障がいの子どもの理解と支援～発達臨床実践から考える』